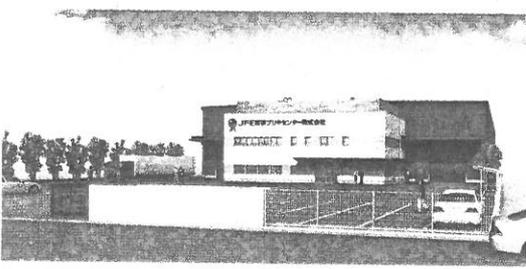


JFE商事ブリキセンター

新本社工場を建設へ

レベラー工程をクリーンルーム化

ブリキコイルセンター（CC）のJFE商事ブリキセンター（本社・大阪府大東市、社長・清水浩史氏）は安全性や生産性の向上、また老朽化対応およびレベラー工程のクリーンルーム化を狙いに新本社工場を建設する。



新本社工場の完成予想図

同社の加工・生産拠 松原工場の2カ所。新設設備の新設・移設を進めながら、来年度上期中の操業開始を目指す。松原工場は閉鎖する。松原工場跡地は売却する予定。新工場の敷地面積は5千平方メートル。また、現本社機能は新工場に移管する。今年8月にも着工を始め、来年4月には工場建屋を完工する予定。その後、レベラーなど

板鋼洗酸 杖鋼船入



北海道・東京・静岡・大阪・BANGKOK

設備の新設・移設を進めながら、来年度上期中の操業開始を目指す。松原工場閉鎖に伴い同工場の2ラインはすべて撤去する。新工場には本社工場から1ラインを改造し、移管するとともに、新たにレベラー（平安製作所

我的钢铁 Mysteel

WWW.MYSTEEL.NET

また近年は作業全般において、異物混入対策などの品質要求水準が高まっており、メーカー・流通などでクリーンルームを採用するケースが増えている。同社もこうしたニーズに対応できるよう作業工程をクリーンルーム化する。また同社ではこれまでに導入し

争力を強化していく。同社は15年10月にJFE商事大阪ブリキセンターと新キヨイ鋼業を統合し、発足した。清水社長は「今回の移転を契機にさらに社内距離的な問題から不十分だったが、今回の投

資で両工場の連携を強化できる」と話す。

製を設置する。足元の年産量は約3万ト。レベラーは1ライン減の3ラインとなるが、生産効率向上などで年産3万6千トを目指していく。

現本社工場にはレベラーのほか、塗装設備があり、コイルから塗装までを一貫生産できるのは同社の強みの一つとなっている。ただ、現本社工場は手狭で、レベラー移設で作業スペースを広げることに加え、在庫置き場も拡大し、安全性の向上を図る。